

金木 だより

昭和59年5月号 (第217号)

編集と発行

金木町企画室

金木町大字金木字朝日山323
電話 53 2111 (代表) 内線40



『豊かな緑の町づくり』 農村総合整備事業に着手

農村総合整備事業に着手

金木町では、農業生産基盤と生活環境を一体的に整備し、農業を基盤とした、豊かな緑の町づくりをすすめるため「農村総合整備計画策定地区」として、五月

に国から選定されました。このことにより、農村の多角的機能の助長と、総合的な環境整備を目的とした「農村総合整備事業」がスタートしました。

この事業は、計画から実施にいたるまで、町民の皆さんの意向を十分に反映させることが重要であります。このため、これから予定している部落懇談会やアンケート調査には、皆さんの特段の御協力をお願いします。なお、事業のあらまは以下のとおりです。

農村総合整備計画

農村総合整備計画とは、農業生産構造や農村社会構造の変化による自給率の低下、環境整備の立ち遅れ等に対処するため、長期展望にたった町全体の整備構想を描くものです。

現在、策定のため現況調査や参考資料の収集にあたっては、今後、皆さんの意見や要望を把握するため、部落懇談会や、アンケ

ート調査を実施して、これを集約し、各種団体代表者ら三十人からなる推進協議会で協議、検討を加え、計画に反映させていきます。この計画は、九月中に作成し、来年度はこれに基づいて、農村総合整備モデル事業実施計画を作成します。

農村総合整備モデル事業

整備計画を町づくりの構想とすれば、モデル事業実施計画は町づくりの青写真です。

モデル事業は、この青写真に基づいて、農業生産基盤と生産環境を一体的に整備することです。

たとえば、農業用水路が家庭用排水路を兼ねていたり、農道が生活用道路として利用されているように生産と生活の施設がはつきり区別されていない箇所は、この事業で整備されます。具体的には、集落道や排水路の整備、防火水槽や運動公園の新設などを、昭和六十一年度からおよそ十年間で約十億円を投入して実

施します。

この事業効果を高め、豊かな緑の町づくりを進めるうえで、皆さんの生活環境と、農業生産体制などについての意識や、行政に対する意見、要望を把握し、計画と事業に反映させることが重要です。

このために実施するのがアンケート調査です。

アンケート調査は 六月下旬

アンケート調査は、農業の一段落する六月下旬に予定しています。

行政協力委員を通じて皆さんの家庭に調査票を配布し、数日後に回収する方法で実施します。

調査票の質問は三十項目ぐらいとし、回答は○印を記入するだけで、しかも無記名方式です。

皆さんの意向をできるだけ多く計画に反映させるために、回収率と回答率を高めることが重要となりますので、アンケート調査に回答し、みんなで豊かな緑の町づくりに参加しましょう。

交通死亡事故ゼロ 六、〇〇〇日 達成

喜良市地区はさる五月十一日、交通死亡事故ゼロ六千日の大記録を達成し、これを記念して翌十二日祝賀パレードを行い、快挙を祝うとともに記録更新を誓い合いました。

同地区では、四十二年十二月七日に子供が荷馬車にひかれて死亡して以来、十六年間ゼロ行進を続けています。金木地区交通安全協会喜良市支部(伊藤勇支部長)で毎戸にチラシを配布したり、安全塔を設置するなど、地域ぐるみの事故防

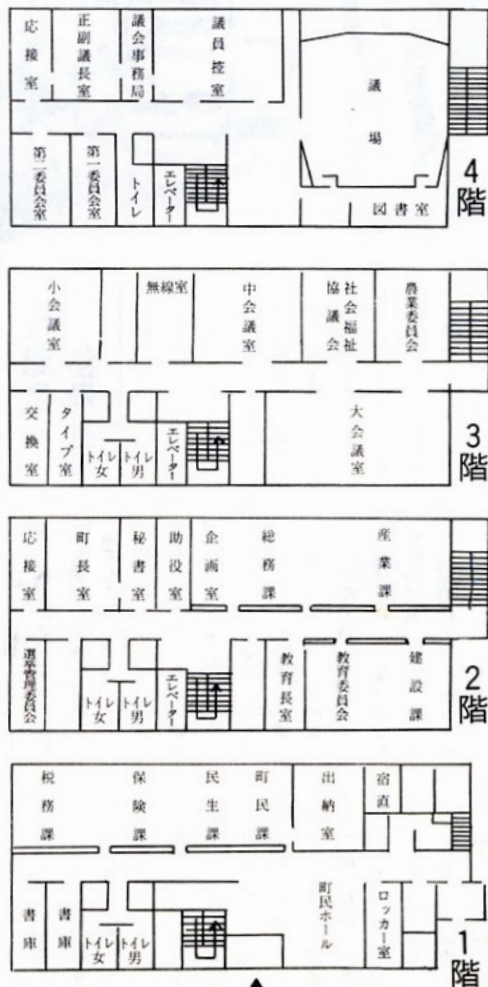
止活動が実ったものです。パレードには古川竹夫町長や小笠原精治郎金木警察署長をはじめ、喜良市小児童や同支部関係者ら約二百人が参加。金木南中プラスチックバンドを先頭に、岩見町入口の安全塔から小田川橋までの目抜き通り約二キロに渡って行われ、沿道の住民からも盛んな拍手が送られていました。

午後からは、喜良市生活改善センターで祝賀会が行われ、小笠原署長、土岐輝雄金木地区交通安全協会会長



連名の表彰状が伊藤支部長に贈られた後古川町長らが祝辞をのべて交通死亡事故ゼロ六千日の快挙をたたえ、参加者は記録更新を誓い合っていました。

役場庁舎内の各課・室・事務局・委員会の配置が一部変更になりました。



クリーン作戦でゴミを一掃 日赤金木町奉仕団

日赤金木町奉仕団(相馬京子委員長)ではさる四月二十四日、国道339号線の嘉瀬川倉間など約八キロにわたり、道路沿いの空き缶やゴミなどのクリーン作戦を展開しました。



このクリーン作戦は同奉仕団が毎年、春と秋の二回行っているもので、この日は団員約五十人のほか役場の職員らも応援に駆け付けました。『写真』

この日午前九時、デレキとゴミ袋を手に嘉瀬川イバス入口をスタートした参加者は、無神経に捨てられている空き缶やビニール袋などを次々と拾い集めて

簡保・年金の還元融資施設 袋三百五十袋。ドライバーの皆さん、空き缶などのゴミ捨てはやめましょう。

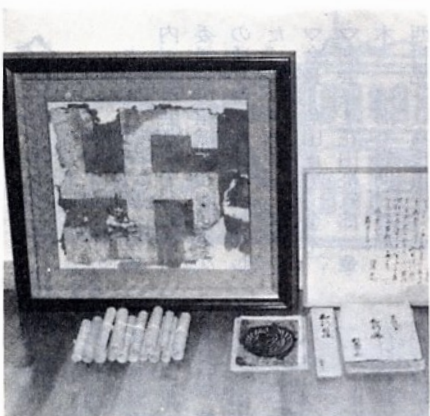
この日の「収穫」はゴミの皆さん、空き缶などのゴミ捨てはやめましょう。

国民年金や簡易保険の積立金の一部は、地方債として町が還元融資を受け事業をすすめています。

五十八年度に完成した還元融資施設は次の通りです。

- ▽火葬場 年金積立金
- ▽慶介車 年金積立金
- ▽町営住宅(第二金木団地) 簡易保険積立金
- ▽町道大東ヶ丘線舗装 簡易保険積立金





贈られた
藩旗

贈られた
藩旗

別養護老人ホーム「あしの園」慰問

太田氏は、昭和二十三年八月に消防団員を拝命以来、昭和五十四年二月に退職されるまで三十年間、班長、副分団長として、防火活動に貢献した功績が認められたものです。



金木消防団・金木消防署 協議会

「先祖の家宝」役立てて
一と、札幌市在住の「金木館」十三代目対馬義二さんが四月初め、白川兼五郎町文化財審議委員会議長を通じて今から約四百年前の卍印の津軽藩旗や古文書などを町に寄贈しました。

寄贈された津軽藩旗は天正十六年（一五八八年）に飯

町では歴史民俗資料館で公開していますが、対馬さんの意向をくみ、これを後世まで残すべく、大事に保存していきま

この後、対馬さんを囲んで参加者は初代右エ門太郎儀英に初まる対馬家のルーツや高橋城攻略の模様について熱心に話し合うなど、町の歴史をひもときながら感激に浸っている様子でした。

太田吉三郎氏に
勲七等瑞宝章

札幌 対馬さん 400年前の津軽藩旗 寄贈

詰（五所川原市）にあった高橋城を藩祖為信が攻略する際、金木館の殿様である対馬さんの先祖右エ門太郎儀英がその先陣を務めた功により為信公から賜ったと



来町した対馬さん（右から2人目）

の北奥文化研究会員ら津軽藩史の専門家をはじめ、町文化財審議委員ら二十名が出席しました。金木郷土史を編集しているうちに対馬さんが金木館の十三代目であることを突き止め、以来文通をして交友を深め寄贈のきっかけをつくった白川さんと古川町長が「貴重な家宝を町の宝として保存したい」などあいさつ。対馬さんはこれを受けて「先祖の家宝を大事に保管してきたが、今後は先祖の生まれ故郷で手厚く保存し文化財として後世に残してほしい」と、感慨なおもちであいさつしていました。

園」を慰問し、民謡や手踊りをはじめ、日頃鍛えたカラオケも披露しました。この日はあいにくのみぞれ交りの一日でしたが、お年寄りや職員も一緒になって参加し、和やかに過ごしていました。

山火事防止!!
燃やすまい
みんなの暮らしに
生きる山



津軽の野山にも遅い春が訪れ山菜取りのシーズンになりましたが、五月、六月は空気が乾燥し山火事の発生しやすい季節です。

森林は、木材生産のほか水資源のかん養、保健休養など、私たちの生活にいろいろな恩恵を与えてくれる緑の宝です。

会長に角田正男氏

行政協力委員会

去る四月二十六日、役場内三階大会議室で行政協力委員会の組織会が開かれ次の通り新役員が決まりました。

- ▽会長 角田正男 (金木)
- ▽副会長 花田植五郎 (金木)
- ▽常任委員 白川昭男 (金木)
- 西村晃一 (喜良市)
- 鳴海為之助 (嘉瀬)

ご存じですか

行政相談委員

行政管理庁では、地域住民の行政に関する苦情等の相談に応じ、その解決を手助けするために行政相談制度を設けています。役所仕事に関すること、

例えば登記、年金、道路等について、納得がいかない法律や手続きがわからない等困っていることはなんでも相談に応じています。金木町では、次の方に委嘱されていますので、お気軽にご相談ください。料金は無料で秘密を守ります。行政相談委員 田村 雄三 電話 52-2232

戸籍の窓

おめでと

- 其田 香菜 (仲功) 川倉
- 松川 達哉 (幸憲) 嘉瀬
- 加藤 桂太 (正弘) 金木
- 渋谷 元哉 (治) 金木
- 吉崎 静 (弘芳) 中柏木
- 今夕香子 (俊博) 喜良市
- 鳴海 克哉 (清美) 金木
- 秋元 菜香 (春樹) 嘉瀬
- 田中 絵理 (光雄) 金木
- 工藤 信之 (登) 喜良市
- 竹内 久登 (均志) 川倉
- 竹内 真里恵 (幸一) 金木
- 桑田 志穂 (克己) 喜良市
- 澤田 紗耶佳 (国明) 嘉瀬

はじめまして

仲功 香菜ちゃん
3月27日生まれ
体重 2,800g



おしあわせに

- 片山 博喜 (誠) 金木
- 木下 千里 (浩人) 嘉瀬
- 新岡 将太 (幸治) 喜良市
- 古川 綾希子 (政信) 喜良市
- 小笠原正仁 (正一) 金木
- 神美代子 (正美) 稲垣村
- 村上 光幸 (米光) 嘉瀬
- 村上 暁子 (信一) 藤崎町
- 其田 敏 (良一) 川倉
- 成田美和子 (吉三) 中里町
- 前田 勝也 (清光) 金木
- 今 雪子 (義孝) 喜良市
- 角田 正樹 (豊吉) 金木
- 荒関 純子 (強) 中里町
- 対馬 博美 (啓二) 五所市
- 伊藤 雪子 (忠) 喜良市

人口と世帯

4月30日現在	前月比
人口 14,350人	+1
男 6,907人	+6
女 7,443人	-5
世帯数 3,906	+18

おくやみ

- 齊藤 禮吉 (55) 嘉瀬
- 田中 ハツ (82) 蒔田
- 田中 キエ (68) 川倉
- 角田 敬一 (48) 金木
- 榊引 フジ (56) 嘉瀬
- 藤元 要吉 (81) 金木
- 長尾 勇次郎 (76) 喜良市
- 小野 ミセ (67) 喜良市

町内散歩

芦野の三本松と三十三観音

津鉄芦野公園駅の名所案内に「芦野の三本松」があります。この三本松は見崎三本松は見崎町の芦野観音堂北側にある樹齢約三百年の老松です。老松の周囲およそ二百メートルには芦野三十三観音霊場としてお地藏さまが安置されています。三本松のゆえんは、徳田伝兵衛が、二三年新田開拓には芦野三十三観音霊場としてお地藏さまが安置されています。三本松のゆえんは、徳田伝兵衛が、二三年新田開拓には芦野三十三観音霊場としてお地藏さまが安置されています。三本松のゆえんは、徳田伝兵衛が、二三年新田開拓には芦野三十三観音霊場としてお地藏さまが安置されています。

ソフトボール チーム募集

スタンドの日曜営業

- 金木町ソフトボール協会 (浅木全一会長) では、今年もソフトボールリーグ戦を開くことになり参加チームを募集しています。
- ▽試合日 毎月第一か第三日曜日
- ▽チーム編成 ①男五人、女四人の混成チームが原則 (中・高校生も可)
- ▽参加料 一チーム五千円 (生徒のチームは無料)
- ▽申し込みおよび詳細 喜良市小・藤元氏まで (昼は電 53-2067)
- ▽6月3日 荒岡商店 53-3009
- ▽6月10日 藤本石油駅前給油所 53-2132
- ▽6月17日 金木農協喜良市支所 52-2529
- ▽6月24日 嘉瀬農協 53-2067